



創立150周年 実行委員会だより

令和6年1月31日 第15号

昭島市立成隣小学校
周年実行委員会
実行委員長 榎本成夫
副委員長 猪狩正博
学校長 松川靖弘
事務局長 神宮正和

【問い合わせ】成隣小学校 副校長 神宮正和 ☎ 042-541-0068

あたたかい拍手に包まれて 創立150周年記念式典が終わる



令和6年1月19日(金) 午後2時より体育館にて、創立150周年記念式典が開催されました。
ご祝辞をいただいた山下秀男教育長、臼井伸介昭島市長、赤沼泰雄昭島市議会議長をはじめとする昭島市議会、教育関係・旧職員の皆様。伊藤賢祥勤音寺住職をはじめとする地域の皆様など、100名の来賓をお迎えしました。厳肅な雰囲気にも包まれた式典会場で、6年生は在校生代表として立派な態度で参列しました。その姿と披露した呼びかけや校歌の素晴らしさに、閉式後、会場からはあたたかい賞賛の拍手が贈られました。



【式典会場でのスナップ】

山下秀男教育長(左から)
伊藤賢祥勤音寺住職
臼井伸介市長

臼井市長の祝辞では「昭島大好き！」コールに加えて、「成隣小大好き！」のコールもいただきました。



『成隣小の先輩からみなさんへ』

創立 150 周年記念集会 第 1 弾



創立150周年記念集会 第1弾として1月25日(木)、体育館でショートの集会を開きました。『成隣小の先輩からみなさんへ』と題したこの集会には、2005年卒業のオリンピック佐合尚人さんをお招きしました。

小学生の頃の話や空手を始めたきっかけ、そして、自分の好きなことを続けることの大切さについてお話をいただきました。

また、体育館中央で迫力ある「空手の型」と「技」を披露していただきました。静と動の張り詰めた空気。素早くキレのある動きに子供たちも目を丸くしていました。

自分たちの先輩にオリンピックがいること。今やっている好きなことを続けていくモチベーション。目標や夢について考えるきっかけになればと願っています。

【プロフィール】

佐合尚人(さごうなおと) 2005年成隣小卒業
2021年 2020東京オリンピック空手組手67kg7位入賞
※2020年6月 オリンピック開催1年延期に伴い、日本代表選手内定が一度取り消され、再選考の後、出場。



【インタビューより】

校長:「コロナによる開催延期で、一度決まったオリンピック出場内定が取り消され、もう一度選考を受けなければならなくなった時、どのように気持ちを保ったのですか？」

佐合さん:「なぜ空手を続けてきたのか問い直しました。そのとき、座右の銘にしている『他喜力』を大切にしたいと考えました。自分をこれまで支えてくれた方々を笑顔にして恩返しをしたいと思い、どん底から、もう一度オリンピック選考に挑戦して出場しました。」

自分の力ではどうすることもできず避けようがない状況になったとき、それを受け止め、諦めずにその先へ進んだ佐合先輩のお話は、きっと子供たちの心に届いていると思います。

